

もっと ニュース

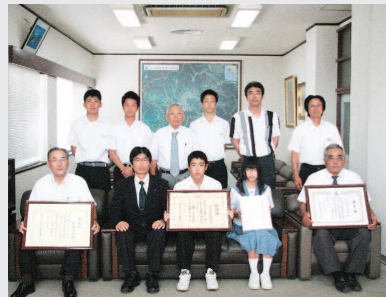
上別府ユキさん青少年育成で表彰



表彰状を持つ上別府ユキさん

鹿児島県青少年育成県民会議総会が6月5日、鹿児島市で行われ、上別府ユキさん（南川公民会）が青少年育成県民会議表彰を受賞されました。これは、地域や子ども会等で長年にわたり実施してきた活動が青少年の健全育成や地域の活性化に大きく貢献していることが高く評価されたものです。

道路愛護・道路功労者表彰



受賞された皆さん

道路愛護及び道路功労者表彰の伝達式が8月29日、町長室で行われ、次の方々がそれぞれ受賞されました。これらは、道路の環境美化活動や道路事業に著しい功績のあった団体または個人に贈られるものです。

- 国土交通大臣表彰
大畠町久富木町育成会（久富木地区）
- 知事表彰
紫尾中公民会（紫尾地区）
- （社）日本道路協会 道路功労者表彰
前園義広さん（船木地区）

第50回川薩畜産共進会が9月11日、薩摩中央家畜市場で開催されました。本町から38頭が出品され、各部で日頃から牛の育成技術等の成果を競いました。審査の結果、若雌1区の部門で平木場岩男さんが部門1席と全体のグランドチャンピオンに輝かれました。また、平木場岩男さんと羽子田ひとみさんは、10月3日に始良郡中央家畜市場

最優秀賞1席・グランドチャンピオン
平木場岩男さん
みちの341号
第50回川薩畜産共進会



平木場岩男さんと、みちの341号

で開催される県畜産共進会への出品者に選出されました。川薩畜産共進会上位入賞者は次のとおりです。（敬称略）若雌1区 最優秀賞1席 平木場岩男（みちの341号） 最優秀賞2席 羽子田ひとみ（なつみ号） 父系群の部 最優秀賞2席 羽子田ひとみ（なつみ号） 東英二郎（ふみ号） 羽子田繁（はやひめ号）



くす玉を割った百万人目の徳留司さん（左から2番目）

来客者百万人突破
鶴田直売所「自慢館」
つるだ特産品販売所「自慢館」の購置者数が平成12年4月に開設以来、約8年5か月の9月10日、100万人に達しました。100万人目は、紫尾の徳留司さん。くす玉を割り祝った後、徳留さんと前後の2人に記念品が贈呈されました。



火点に向け放水する二渡分団の要員

二渡分団健闘
第27回鹿児島県消防操法大会
「第27回鹿児島県消防操法大会」が8月28日、鹿児島県消防学校で開催され、県内11支部の代表が消防操法技術の正確さやスピードを競いました。薩摩支部からは、「ポンプ車の部」に二渡分団が出場し、見事なチームワークで、10位と健闘しました。

町民バレーボール大会
第4回さつま町民バレーボール大会（さつま町体育協会主催）が9月7日、鶴田体育館ほか2会場で開催されました。各支部代表の男子22チーム、女子19チームが参加し、A・Bクラス別に熱戦が繰り広げられました。大会結果は、次のとおりです。
■男子Aクラス（会場：鶴田体育館）優勝 宮之城屋地A 準優勝 宮之城屋地B 第3位 湯田
■女子Aクラス（会場：薩摩中学校体育館）優勝 宮之城屋地 準優勝 久富木 第3位 平川
■男子Bクラス（会場：宮之城総合体育館）優勝 柏原 準優勝 鶴田 第3位 時
■女子Bクラス（会場：宮之城総合体育館）優勝 神子 準優勝 紫尾 第3位 船木・鶴田

「金吾さま」の呼び名で親しまれている島津歳久を祭る大石神社秋季大祭が9月21日、中津川地区の大石神社境内であり、金吾様踊りが奉納されました。

金吾様踊り
大石神社秋季大祭



俵踊りを披露する中津川文化財少年団

大祭では、中津川小学校全児童による子ども御輿、中津川文化財少年団の俵踊り、北方町清友会の六尺棒踊り、武白猿伝承民芸保存会の三尺棒踊り、恵光保育園園児の子どもハンヤ節、尾原友助会の兵児踊り、弓之尾恵友会の鷹刺し踊り、別野集落の虚無僧踊りが、それぞれ披露され、訪れた多くの見物客を魅了しました。また、この日は、日置島津家17代の島津晴久さんも見物に訪れ、各集落に伝わる伝統芸能を堪能されました。

全国大会初出場 宮之城野球少年団
第30回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会



熱戦を繰り広げた宮之城野球スポーツ少年団

「第30回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会」が8月8日から11日、札幌市の札幌ドーム、つどいむ、太陽球場を会場に開催され、全国9つのブロックの代表15チームと、開催地・北海道の代表1チームの合計16チームが出場し熱戦を繰り広げました。宮之城野球スポーツ少年団も7月の予選を突破し、九州ブロック代表として念願の初出場を果たしました。

したが、選手たちは実力を出し切った満足感でいっぱいでした。その後、地元札幌チームや東北ブロック代表ひらかべスポーツクラブ（青森県）との交流試合に臨み1勝1敗の対戦成績でした。大会期間中、読売巨人軍OBによる野球教室も開催され、選手はもとより監督やコーチも憧れの選手たちの指導を熱心に受けていました。

大きく育ってね
上宮保育園 キジ放鳥



キジを放鳥する園児たち

上宮保育園の園児たちが8月22日、宮之城猟友会（山元幸雄会長）の協力のもと、24羽のキジを放鳥しました。山元会長は「雨の日や霧の多い日は、田んぼのあぜ道に出できませんので、よく観察してください」と話されました。園児たちは、両親や祖父母と一緒に、曾於郡キジ養殖組合で育てられた生後120日のキジを放鳥しました。猟友会では、毎年、自然保護活動の一環で、キジの放鳥をしています。